

## かながわボランティア活動推進基金 21 とは

21 世紀を迎え、地域や社会の課題が複雑・多様化する中であって、ボランティア団体等が果たす役割は極めて重要になってきています。そこで、県は、公益を目的とする事業に自主的に取り組むボランティア団体等の活動を促進するため、平成 13 年（2001 年）3 月に、総額 100 億円のかながわボランティア活動推進基金 21 を設置しました。

この基金の運用益を活用し、ボランティア活動の支援を目的とした次の 4 つの事業を行っています。

### ■ 協働事業負担金

地域社会にとって必要な公益的な事業で、ボランティア団体等と県とが対等な立場でパートナーシップを組んで行えば一層の効果が期待できると考えられる事業を対象に、基金からその事業に要する経費を負担します。

○ 年間 1,000 万円を上限に、原則 3 年間、最長 5 年間（年度ごとの審査あり）、負担金を交付します。

### ■ ボランティア活動補助金

地域や社会のニーズをとらえて自発的に取り組む事業や、社会システムの改革を目指してチャレンジする事業などで、新たに立ち上げたり、展開したりする事業を対象に、基金からその事業に要する経費を補助します。

○ 事業に要する経費の 2 分の 1 以内の金額で、年間 150 万円を上限に、最長 3 年間（年度ごとの審査あり）、補助金を交付します。

### ■ ボランティア活動奨励賞

地域や社会への貢献度が高く、他のボランティア団体等の活動のモデルとなり、今後さらに継続発展が期待できる活動に取り組むボランティア団体等を表彰します。

○ 知事表彰状及び副賞（上限 30 万円）を贈呈します。

### ■ ボランティア団体成長支援事業

ボランティア団体が自立的かつ安定的に活動できるよう、県が中間支援組織等にその支援を委託して実施する事業です。

○ 事業受託者は、県と業務委託契約を結び、自らの企画提案に沿ってボランティア団体を支援する事業を実施します。

〈上記は、2020 年 3 月現在〉

対象事業は、「神奈川県ボランティア活動推進基金審査会」で選考され、その答申を受けて知事が決定します。

なお、審査会における対象事業の選考は、審査会の下に置く「神奈川県ボランティア活動推進基金幹事会」による事前調査の結果報告や、公開で行うプレゼンテーションの内容、質疑応答等により、総合的に審査されます。

詳しくは

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/cnt/f5258>

◆◆かながわボランティア活動推進基金 21 では、県民の皆様からのご寄付を募っています◆◆  
寄付のお申込等、詳しくはホームページをご覧ください。

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/f7763/p491931.html>)

寄付に関するお問い合わせ：神奈川県 NPO 協働推進課 電話 (045)210-3703

# 目次

## 協働事業負担金

---

- 01** 特命子ども地域アクタープロジェクト . . . p.6  
NPO法人ミニシティ・プラス  
協働部署：青少年課、商業流通課、都市整備課、高校教育課

## ボランティア活動補助金

---

- 02** 高校図書館内居場所カフェ事業 . . . p.8  
特定非営利活動法人パノラマ
- 03** 「居場所」と相談活動拠点開設をめざす  
他地域NPOの設立サポート . . . p.10  
特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾
- 04** がん体験者によるがん患者のための  
ピアサポート活動の普及 . . . p.12  
ピアサポートよこはま
- 05** 子どもも学べるアレルギーワークショップ . . . p.14  
NPO法人エーエルサインラボ（現：NPO法人ピアサポートF.A. cafe）

## ボランティア活動奨励賞

---

- 06 7 R活動の促進による持続可能な資源循環型社会の構築 . . . p.16  
逗子ゼロ・ウェイストの会
- 07 在宅傾聴により高齢者を守る活動 . . . p.17  
NPO法人ピーイング久里浜
- 08 身近な物で作る家庭防災の実践と「防災減災パワーズブック」  
の発行 . . . p.18  
女性防災クラブ平塚パワーズ
- 09 ハイキングしながらゴミを拾うクリーン活動及び山道の安全  
見守り、緑の保全活動を通じて社会に貢献する . . . p.19  
ハイキング・クリーン
- 10 子育て支援や学童保育、子ども食堂、高齢者の見守り電話  
など、幅広い分野での社会ニーズをとらえた活動 . . . p.20  
特定非営利活動法人地域福祉を考える会

Gallery かながわボランティアフェスタ 2019.9.29 . . . p.21

## ボランティア団体成長支援事業

---

- 11 プロボノ・プラットフォーム構築事業 . . . p.22  
特定非営利活動法人サービスグラント
- 総評 神奈川県ボランティア活動推進基金審査会 . . . p.24  
会長 長坂 寿久
- これまでの基金 21 対象事業・団体等一覧 . . . p.25



## 特命子ども地域アクタープロジェクト

NPO法人ミニシティ・プラス

協働部署：青少年課、商業流通課、都市整備課、高校教育課

### 活動

#### 子ども・青少年の 地域社会参画推進

近年、少子化や情報化の進行など社会環境の変化により、子どもの成長期に地域の大人や、異世代の青少年同士の交流の機会が減っています。コミュニケーション能力、社会性を身につける場の必要性が高まっており、青少年の社会参画の機会を増やす必要があります。

一方、地域のまちづくり活動の現場では、後継者不在などの問題を抱える団体等が多いにもかかわらず、青少年の主体的な社会参画を受け入れる大人側のノウハウが不足しており、地域課題の把握や大人と対等の立場で

#### Check !



#### <事業基本データ>

事業分野	子どもの健全育成
実施期間	2014～2018 年度
負担金額	計 21,948 千円

企画段階から携わる環境をつくるのが難しく、青少年は受益者でしかない現状があります。

そのような課題を解決するため、本プロジェクトを実施しています。「特命子ども地域アクター」とは、まちづくりに関心のある公募で集まった青少年を、地域の課題を抱えている現場に派遣し、大人と一緒に企画をし、実施する活動です。子どもたちの自由な発想と行動力を地域のまちづくりに活かします。

## 成果

### 県下延べ90団体に 子どもたちを派遣

特命子ども地域アクター（以下、アクター）は県との「新しい公共支援事業」から基金 21 協働事業を合わせて 7 年間連携しました。小学校 5 年生から高校 3 年生までのアクターは延べ 279 名となり、派遣団体は延べ 90 団体となりました。

応募のあった子ども・青少年に、まず、「まちづくりのいろは講座」を横浜市立大学との連携で実施し、派遣希望の団体とのお見合い会を経て、3 名～6 名が 1 団体に派遣され、「特命事項」を解決すべく課題に取り組みます。具体的には、商店街での子ども向けイベントや空き店舗活用、施設の子どもの向けイベントの企画、団体の子ども向け PR として体験レポート、子どもがつくるまちの立ち上げのお手伝い等、幅広く活動しました。神奈川県下、山北町や相模原、三浦、葉山、川崎、小田原、箱根湯本まで活動の幅を広げました。全国でもめずらしい取組であることから、他地域の自治体からの視察、見学、講師依頼などもありました。



担当者の  
コメント

理事長  
三輪 律江 さん

横浜を中心に活動していた当団体ですが、活動の幅が神奈川県下に広がりました。

参加した子どもたちも 5 年間で成長し、まちづくりに強い関心をもって、実際に歩みだした人もいます。

協働事業で信頼関係を築くことができ、現在も県と連携しながら活動できていることに感謝しています。



▲県庁で実施した成果報告会では、大人と子どもの本音トークが行われた



◀ 特命子ども地域アクターと派遣団体のお見合い会の様子

## 協働

この事業は、地域のまちづくりに関する課題を解決するため、公募で集まった小中高生たちが、課題を抱える地域の大人と一緒に企画、実行する形で、まちづくりに参加するものです。

これまで、子どもたちが参加した多くの地域から、感謝の声が届いていることから、今後も子どもたちの社会参加の機会が増え、同時に地域の課題が解決される取組が続くことを期待しています。（青少年課）



NPO法人  
ミニシティ・プラス

代表者 理事長 三輪 律江

設立 2008 年 5 月

住所 〒224-0001  
横浜市都筑区中川 1-4-1-107

活動紹介 ミニヨコハマシティ、ジュニア編集局、特命子ども地域アクターを活動の柱にし、子どもたちが地域に参画できる場をつくり、持続可能なまちづくりを目指します。